

Liberal & Democratic  
**自由民主党 蒲郡市議団通信** vol.011



よびた たかひろ  
団 長 **喚田 孝博**



昨年の今頃は、ダイヤモンド・プリンセス号の初寄港でクルーズ観光への大きな期待が寄せられたものでしたが、今日では、その豪華客船が、新型コロナウイルスの感染元のようになってしまう、何とも残念な思いでなりません。令和の新しい年が明け、オリンピックイヤーとして誰もが期待に胸をふくらませていたものが、世界的流行と共に先行きが見通せないような状況へと一変してしまいました。市内における観光関連をはじめ、飲食、卸売り業等への影響は大きなものであり、製造業でもサプライチェーンの毀損による経営環境は厳しさを増しているものと思います。地域経済と共に市民生活を守るために何ができるのか、何をすべきなのかをしっかりと考え活動してまいります。1日も早く、この新型コロナウイルス感染症が終息するために、みんなで頑張りましょう！

あおやま よしあき  
幹 事 長 **青山 義明**



3月議会におきましては、現在、国をあげて新型コロナウイルス感染防止対策を進めており、市職員がその対応に専念できるよう配慮する為、議会運営委員長として一般質問の中止をご提案させて頂きました。また、予算審査特別委員長も兼任しており、予算審査特別委員会におきましても、感染予防と市職員がその対応に専念できるよう、質疑を事前通告制とし、理事者側の人数を大幅に削減させて頂きました。現在、蒲郡市に於いては、新型コロナウイルス感染者が発生し、特に観光・飲食関係等の業種の皆様は大変な状況でございます。いち早く国・県・市が連携し、しっかりとした対応ができるように努めてまいります。また、市民の皆様が早く安心して暮らして行けるように市議会も行政と連携して様々な対策に取り組んでまいります。新型コロナウイルスの早い治療薬・ワクチンの開発と終息を願うばかりです。

おおば やすのり  
政 調 会 長 **大場 康議**



**国道23号蒲郡バイパス建設特別委員長**  
【国道23号蒲郡バイパスの進捗状況について】  
用地買収の進捗状況は蒲郡区間は昨年9月に土地収用法の手続きを行ない土地取得しました。又、豊川区間においても土地収用法手続きが令和元年度中の完了予定となります。工事進捗は、令和元年度の工事費65億1千万円が配分され昨年8月には豊沢トンネルが貫通し、現在橋梁下部工事等が進められています。完成時期については今のところ未定となっております。  
【大塚金野線の早期事業化について】  
現在愛知県がラグーナ地区臨海道路海陽3号線を整備中であり、交わる国道23号大塚鎌倉交差点付近の設計を進めつつ、公安委員会と協議を行っている。また、大塚鎌倉交差点から金野インター(仮称)区間中の東海道本線、新幹線の交差協議をJRと事前協議を行い、事業化に向けて準備を進めております。

おお す か はやし  
副 幹 事 長 **大須賀 林**



突然の襲来となったコロナウイルスにより、小中学校から高校までが一斉の休校となり、地域の各種イベントや、自治会の総会までが中止や延期となりました。これ以上の感染拡大がないよう祈るばかりです。  
3月議会では一般質問が中止となり、来年度予算を中心とした議案について、委員会にて審議することになりました。所属する常任委員会では蒲郡市水道ビジョンの策定に関する報告がありました。今後10年間の水道事業の将来見直しと目標に向けた施策や行程をまとめた大きな計画です。  
私はこれから先、人口減少により10年後には当然料金収入が少なくなってしまうが、値上げは考えているかと聞きました。市は水道水の100%を県水に依存しており、健全経営の維持が必要との答えでした。蛇口をひねれば水が出る、当たり前のことが実は大変なことなので、今後とも関心を持って見守っていきます。

たけうち しげやす  
副 議 長 **竹内 滋泰**



令和2年3月定例会は、現在、国をあげて新型コロナウイルス感染防止対策を進めていること、蒲郡市でも発症例が出たことなど、市職員がその対応に専念できるよう配慮するため、三日間で予定していました本会議における一般質問を取りやめることといたしました。私が蒲郡市議会副議長に就任して1年が経とうとするそんな時期に…改めて副議長選挙における私の所信表明を思い起こしてみたいと思います。二元代表制という意義を認識し、市民に寄添い、市民の声に耳を傾け、市民に信頼される議会を目指すことが大切であると考えます。私は、平成29・30年度の二カ年間、議会運営委員会委員長として、議会全般にわたる仕事をさせて頂きました。議長の諮問を受けて、誰もが傍聴できる仕組みづくりに取組んで参りました。また、タブレット端末導入による、ペーパーレス化及びタブレットの活用による議会の活性化にも取組んで参りました。議会人事における役職は毎年変わっていきませんが、市民に信頼される議会を目指すという大義はいつまでも変わることがないと信じております。これからも引き続き「市民から信頼される議会」を目指して全力で取組んで参ります。

おおむかい まさよし  
文 教 委 員 長 **大向 正義**



新型コロナウイルスという怪物が、日本中を徘徊しています。この怪物は、私たちの生命はもとより経済をも破壊し始めています。自然の猛威という意味では、何時来てもおかしくない「南海トラフ」も同じです。私たちは、それらに対して決して負けない防御策を考え、用意しておくかなければなりません。今回は克服できても、又新しい感染症が、何時襲うか判りません。その防御策は、市民病院の医療センター化です。医療センターとは、医療、各種予防の健康行政、介護・福祉施策まで、市民病院が幅広く中核的な役割を果たすことです。かかりつけ医と連携した「地域完結型医療」です。  
「南海トラフ」に対しては、広域防災公園とそれに隣接した防災拠点になりうる総合体育館の建設です。  
この2つを令和2年度中に作成する、令和3年度から今後10年間のまちづくりの最上位計画「第5次総合計画」に盛り込むことが重要です。

すずき まさひろ  
**鈴木 将浩**



新型コロナウイルスは、蒲郡市でも大きな影響が出てしまいました。蒲郡市の状況をインターネット等で情報発信した際の反響を見ると、早急に適切な情報をお届けすることの重要性を改めて感じました。  
市議会議員となって約1年が経過し、様々な行事に参加し、ご要望についても対応して参りましたが、まだまだ反省が残る部分もあり、より一層尽力していかなければいけないと考えております。  
3月定例会では初めて予算審査特別委員会に参加しました。RPA(業務自動化)やAI、創業支援、シティセールス等の得意分野はもちろん、コミュニティバス、双天山公園健康ロード整備、市民プール代替事業など様々な点について確認・提案をさせて頂きました。  
今後も積極的に多くの方にお会いし、ご要望やご意見をお伺いし、より良いまちづくりに取り組んで参ります。